富山高等専門学校	開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	校内練習船実習Ⅱ

科目基礎情報

科目番号	0092	科目区分	専門 / 必修
授業形態	実験・実習	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	商船学科	対象学年	2
開設期	通年	週時間数	1
教科書/教材	舶用機関概論,英語辞書		
担当教員	山谷 尚弘		

到達目標

船舶職員養成施設履修科目　三級海技士（機関）
機関に関する科目（その一）
　・出力装置（ディーゼル機関）
機関に関する科目（その二）
　・補機
　・電気工学、電子工学及び電気設備
執務一般に関する科目
　・当直
　・英語
　・船内作業の安全
　・乗組員の管理、組織及び訓練

リーダーシップ、コミュニケーション能力、忍耐力を養う。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1 機関室機器の内容が把握できること	機関室機器の内容が把握でき質問に対して十分な回答ができた	機関室機器の内容が把握できた	機関室機器の内容が把握できない
評価項目2 集団生活ができ船内生活をおこなえること	集団生活ができ、船内生活ができ、周囲への配慮ができた	集団生活ができ、船内生活をおこなうことができた	集団生活ができず、船内生活で他人に迷惑をかけた
評価項目3 時間までに、配置につくことができること	班の主となり、全体をまとめ、時間を厳守することができた	時間を厳守し、配置につくことができた	時間を厳守せず、遅刻をした

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	・機関部業務の内容を理解すること。 ・機関室の構成機器の名称を英語で覚え、その要目と用途を理解する。 ・船内電路を理解する。
授業の進め方・方法	練習船「若潮丸」に乗船し、１泊２日を船内で生活する。船内では講義、実習を行いながら船舶運航知識を習得する。
注意点	乗船することを原則とし、実習態度、意欲及び課題・レポート等の内容を総合評価する。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	1回　前期　乗船実習 １泊２日	シラバスの説明
		2週	2回　機関室における出入港作業	乗組員の出入港作業の説明と見学により作業を理解する。
		3週	3回　機関室における出入港作業	乗組員の出入港作業の説明と見学により作業を理解する。
		4週	4回　機関当直と機関部作業	機関当直に関る作業とその要領を理解する。
		5週	5回　機関当直と機関部作業	機関当直に関る作業とその要領を理解する。
		6週	6回　機関当直と機関部作業	機関当直に関る作業とその要領を理解する。
		7週	7回　船内整備作業方法と工具	様々な整備作業方法を学ぶとともに、作業に応じた工具の使用方法も理解する。
		8週	8回　船内整備作業方法と工具	作業の安全対策を理解する。
	2ndQ	9週	9回　機関室の機器名称と配置	機関室内に配置されている機器の名称とその用途を理解する。
		10週	10回　機関室の機器名称と配置	機関室内に配置されている機器の名称とその用途を理解する。
		11週	11回　機関室の機器名称と配置	機関室内に配置されている機器の名称とその用途を理解する。
		12週	12回　配管調査	系統別に配管を調査することで、付属機器の種類及び用途を理解する。
		13週	13回　配管調査	系統別に配管を調査することで、付属機器の種類及び用途を理解する。
		14週	14回　機関英語	機関室に配置されている機器名称を英語で理解する。
		15週	15回　機関英語	理解度の確認テストを実施する 下船テストをおこなう。
		16週	期末試験	下船テスト
後期	3rdQ	1週	16回　後期　乗船実習 １泊２日	実習内容の説明と実習における諸注意

		2週	17回　機関室における出入港作業	乗組員が行なう出入港作業の説明と見学
		3週	18回　機関室における出入港作業	乗組員が行なう出入港作業の説明と見学
		4週	19回　機関当直と機関部作業	機関室当直に関する作業とその要領を理解する。
		5週	20回　機関当直と機関部作業	機関室当直に関する作業とその要領を理解する。
		6週	21回　機関当直と機関部作業	機関室内にある構成機器の英語名称を覚え、それぞれの特性を理解する。
		7週	22回　機関室の機器構成	機関室内にある構成機器の英語
		8週	23回　機関室の機器構成	名称を覚え、それぞれの特性を理解する。
	4thQ	9週	24回　主機関と補機関	主機関と補機関（ディーゼル機関）の要目を学ぶ
		10週	25回　主機関と補機関	主機関と補機関（ディーゼル機関）の要目を学ぶ
		11週	26回　船内電路と電気機器	船内の電源回路の種類とその用途を理解する。
		12週	27回　船内電路と電気機器	船内の電源回路の種類とその用途を理解する。
		13週	28回　船内電路と電気機器	機関部での使用頻度の高い英単語を理解する。
		14週	29回　機関英語	理解度を確認するための英単語テストを実施する
		15週	30回　下船テスト	２年生で実習した内容の総まとめ
		16週	期末試験	下船テスト

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	30	20	15	35	0	0	100
基礎的能力	10	10	5	15	0	0	40
専門的能力	10	10	5	15	0	0	40
分野横断的能力	10	0	5	5	0	0	20